

事業テーマ

展示ブースの3Dシミュレーターの導入による 新規出展者向けサービスの展開

[対象類型] 革新的サービス

[革新的サービスとの関連性]

- ・付加価値の向上(新規顧客層への展開、独自性)
- ・独創性の発揮、ブランド力の強化、顧客満足度の向上、価値や品質の見える化、IT利活用〈I〉)
- ・効率の向上(サービス提供プロセスの改善、IT利活用〈II〉)

本事業への取組みの経緯・目的

当社は、長年アミューズメントパークやTVスタジオで用いられる特注の金物製作、看板やスチール什器の製造、オブジェや各種インテリア金物の製作等、ディスプレイ関連の金属加工を業務として行ってきました。

さらにまた、複雑な金物製作やデザイン重視の作業経験を生かした総合的なディスプレイ業を行っており、今日は主体業務となっております。

例えば新製品の発表・販売促進・会社情報発信を目的とした展示会ブースの装飾工事、商業施設の設計、ショールーム・プレゼンテーションエリアの企画・施工などを行い、クライアントのご要望に合わせたディスプレイ制作を行っております。また軽くて丈夫、持ち運びに便利、組み立てが簡単、そういったクライアントのご依頼を形にした独自のオリジナル展示什器の製造も行っております。

当社が手がけるディスプレイ製品は独創性やデザイン性、ひととき目立つハンドメイドにこだわったクライアントの声を形にしたものが製品の特徴です。

初めて展示会への出展、またはノウハウや経験が少



ないクライアントの場合、完成イメージを共有しにくく、打ち合わせを進めるのも困難な場合が多々あります。

そこで今回の補助事業では打ち合わせを行いながら同時進行で導線も含め展示会当日の会場を具体的にイメージ出来る、展示会ブースのリアルタイム3Dシミュレーションプログラムの開発を行いました。

合わせて大きなデータ量のシステムプログラムを瞬時に稼働するカスタマイズされた3Dシミュレーション専用PCの導入も行い、展示会ブースを進めるにあたっての多くのロスのカットすることにいたしました。

実施内容

展示ブースのリアルタイム3Dシミュレーションプログラムのユーザーインターフェイスはクライアントと打ち合わせを行いながら操作できるよう出来るだけわかりやすく容易な画面に設定され、3Dの形状を瞬時に変更できるようゲームエンジンを搭載してプログラムが開発されました。

3画面ビューの配置やビューの切り替え、マウスによるカメラアングルの移動、画面のリサイズ等はこの展示ブースシミュレーターだけの独自のプログラムで開発されています。

展示ブースの基本ベースになる大きさや壁面形状のパターンはあらかじめ保存されているプログラムデータから呼び出して、展示台、受付カウンター、応接セット等を適切に配置していきます。

素材オブジェクトの入れ替え及びオブジェクトのカラーの切り替えもワンタッチ操作で行えますのでブースイメージが瞬時に変わります。

展示会ブースの3Dシミュレーターを使用することにより、実際にブースの中を見て歩いた感じになり展示会当日の会場をより具体的にイメージすることが可能になりました。クライアントと初期の打ち合わせ段階で展示ブースのイメージをお互いに確認することが可能になり、認識の食い違いを回避することにより一層の具体的な打ち合わせに移行することが可能になりました。

初期段階でのロスをなくすことでより高いデザイン性や機能性、インパクトのあるブース作りが可能になり費

用対効果もアップすると期待しています。現在この展示会シミュレーターを最大の営業ツールとして営業展開を始めております。



事業実施の成果

営業力アップを図っていききたいとの考えから導入した展示会ブースシミュレーターですがおかげさまで営業において大いに活躍しております。初期の段階でイメージを持っていただくことで打ち合わせで間違いが少なくなったのと商談成立の割合が高くなりました。

展示会ブースの装飾業務を行う会社は多数あります。内装業者や木工業者、広告業者や代理店など含め大小様々です。

例えば小規模の業者ですと完成度やデザイン性が乏しかったり、大手の広告代理店や装飾代理店ですと、どうしても多くの物件をこなす必要があるため、下請け会社に業務を委託するなどしてどれも同じような展示ブースになりがちです。

せっかく出展してもブースが目立たなかったり、イメージのポイントがずれていたり、独自性が失われがちになるということをよく耳にします。

今回独自に開発したシミュレーションシステムの活用で展示会ブース製作において最も重要であるレイアウトとゾーニング作りのスピードアップ及び精度が向上し、シミュレーション上におけるデザイン制作も可能になりました。シミュレーターと合わせて一貫して自社で企画、設計、デザインし、また自社工場での製作、現場施工、監理を行いますので出展されたクライアントにとって満足度の高い最大効果を引き出すブース作りを行っております。おかげさまでクライアントのリピート率は上昇しました。

今後の展望

シミュレーターを使った営業を進めていくなかでの新たな展開ですが、最近ではVRコンテンツ制作や映像制作依頼の話も入ってきました。当社の業務は総合的ディスプレイ業ですので、イルミネーションやライトアップ、プロジェクションマッピング等の電飾工事、大型モニターやプロジェクター、マルチビジョンの設置等も行っております。

今回をきっかけとしてAV設備を導入されるクライアントから今のトレンドに合ったコンテンツや動画制作の依頼をいただくようになりました。

当社は建売住宅ではなく、「こだわりを持った注文建築」とでもいうクライアント独自のデザインング展示ブース作りを売りにしてきました。

しかしまだ目にしないもの、お金をかけて作る完成品が全く見えない状況では人は不安になります。ましてや企業が大きな費用をかけて出展する展示会ブースでし

たらなおさらです。

未来を体感できるVR技術を使い開発した展示会ブースシミュレーターは、大道具・小道具、催事場装飾の延長で伸びてきた展示会・ディスプレイ業界に新しい風を送るものだ実感しています。そして利用範囲はこれからさらに大きくなり、営業成果に結びつけていく計画を立てています。

今後は展示会ブースシミュレーターの導入で他社との差別化、セールスポイントの明確化を図り、営業スタッフの増員、売上アップを目指していきたいと考えています。

当社はこれからも獨創性、デザイン性、独自性をPRし、海外取引も含めた幅広い営業窓口を展開して行きます。

そして今後は一層精度を上げて、AIを含めたシミュレーターのバージョンアップを図っていくことを考えています。

社長から一言

社長 山田 稔

町工場に囲まれ、ものづくりの音の中で私は育ちました。華々しい大阪万博や自動車ショーは遠い日の憧れでした。

積極的に新しい技術を取り入れたもの作り、サービス業務に取り組んでいきたいと考えています。

今回の補助事業を通して数多くの技術を体験することができました。また、多くの人々とめぐり合うことができ、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

またこれから展示会へ出展をお考えの企業様、デザインやディスプレイにご関心のある方はお気軽にご連絡いただきたいと思います。ありがとうございました。

企業データ

【主な事業・業種】 ディスプレイ業・展示什器の製造販売

【得意分野】 展示什器の製造

所在地：【本社】〒104-0061 東京都中央区銀座4-14-15

【事業実施場所】

〒289-1144 千葉県八街市八街ろ88-125

T E L：【本社】03-6264-1958 【事業実施場所】043-444-7666

F A X：【本社】03-6264-1948 【事業実施場所】043-444-7676

E-mail：shift@shiftup.co.jp

設 立：昭和63年5月11日

代表者：代表取締役 山田 稔

従業員数：5名

資本金：1,000万円